

## 他者からの評価

オンラインで公開されている情報が、他の人の自分に対する評価にどのように影響するかを考えます。さまざまなタイプのオンラインコミュニケーションで情報の受け手が誰かを想定し、自分の名前が検索されたときにどのような情報を表示したいかを考え、自分についての不快なオンラインコンテンツに対応するさまざまな方法を学びます。

## 素材

どう対応すればよいでしょうか配布資料

# あなたの秘密を知っている人

## パート1

以下の内容を伝えます。

自分に関する秘密は何ですか。その秘密を思い浮かべてください。秘密を他の人とシェアしたり、書いたりする必要はありません。

心の中で次の質問に答えてください。答えを大声で口にしたり、書いたりしないようにします。

1. この教室にいる何人がその秘密を知っているでしょうか。
2. 近所に住む何人がその秘密を知っているでしょうか。
3. 一度も直接会ったことのない人でその秘密を知っているのは何人でしょうか。

あなたがその秘密を紙に書く必要があり、このグループからランダムで選んだ人がそれを読んだとします。それから1週間経つたと想像してみてください。次の質問にも、心の中で答えてください。答えを大声で口にしたり、書いたりしないようにします。1週間が過ぎました。

1. この教室にいる何人が今その秘密を知っているでしょうか。
2. 近所に住む何人が今その秘密を知っているでしょうか。
3. 一度も直接会ったことのない人で今その秘密を知っているのは何人でしょうか。

## パート2

以下の内容を伝えます。

あなたに関する秘密やその他の情報を見る可能性が高い人を、その情報の「公開範囲」として考える必要があります。

公開範囲を把握すると、安心してシェアできる情報とシェアすべきでない情報を判断しやすくなります。公開範囲は特定の情報にアクセスできる個人やグループで構成されています。

今日の新しいテクノロジーによって、公開範囲はあっという間に広がる可能性があります。このような公開範囲の急速な拡大を踏まえると、オンラインで公開されている情報やアクティビティの公開範囲を把握したり、制限したりすることは、不可

能ではないものの難しいと言えます。自分の功績を多くの人とシェアしたい場合は公開範囲を拡大できれば有益ですが、非公開にしておきたい情報の場合は逆効果です。

個人的な情報、特に自分にとって恥ずかしい情報は、他の人が見れば興味深いものであることが多いため、このようなタイプの情報がオンラインで掲載されると、このコンテンツを見る人を制限することは非常に難しくなります。

情報をオンラインでシェアするときにはいつでも(たとえテキストやプライベートメッセージでのダイレクトなやり取りの場合でも)、自分が意図した人々以外にも情報が広まる可能性を考えて準備する必要があります。

## パート3

以下の質問を投げかけます。

近況アップデート、写真、その他の情報をソーシャルメディアで投稿する場合、シェアする対象者として自分が意図する人々は誰ですか。

その答えはソーシャルメディアプラットフォームによって異なりますか。それとも状況によって異なりますか。

以下の内容を伝えます。

あなたのプライバシー設定や、どのソーシャルメディアプラットフォームを利用するかによって異なりますが、公開範囲は、親しい友達、フォロワー、つながりのみに制限したり、ソーシャルメディアプラットフォームのすべての利用者またはあなたをオンラインで検索するすべての人にまで拡大したりすることもできます。公開範囲にかかわらず、情報はどこかでコピーされて投稿されたり、他の人がそのコンテンツの写真やスクリーンショットを撮ったり、情報がオフラインやオンラインでの会話でシェアされることも考えられます。

以下の質問を投げかけます。

ソーシャルメディアにコンテンツを追加する場合、シェアする対象者として自分が意図する人々は誰ですか。

例えば、あなたが他の人のFacebookタイムラインに投稿するときや、他の人のソーシャルメディアアカウントにコンテンツを追加する(写真にコメントしたり、投稿や写真で他の人をタグ付けしたりするなど)ときに、シェアする対象者として意図する人々は誰ですか。

以下の内容を伝えます。

これはあなたと公開範囲内の人のプライバシー設定によって異なりますが、ほとんどの場合、コンテンツは友達、フォロワー、つながり(自分の知り合いでない人も含まれる)に公開されます。この中には、その人の家族、学校の職員や教師などが含ま

れる可能性があります。

以下の質問を投げかけます。

メッセージ(テキスト、メール、ソーシャルメディアのプライベートメッセージやダイレクトメッセージなど)を送信する場合、意図する対象者は誰ですか。

以下の内容を伝えます。

対象者はそのメッセージの送信先ですが、他の人にも表示される可能性があります。

以下の質問を投げかけます。

あなたのメッセージはどのようにして送信先以外の人に届くのでしょうか。[写真やスクリーンショットの送信、転送、電話での会話の中で直接シェアされるなどが考えられます]

多くの対象者に届いたほうが有益なのはどのようなケースでしょうか。[より多くの人にメッセージを広めたい場合、人々を集める場合、認知度を上げる場合などが考えられます]

意図した以上に対象者が増えることが問題になるのはどのようなケースでしょうか。[意図した人々以外にシェアされるとトラブルに巻き込まれる場合、困惑を招く場合、評判を損なう場合など]

オンラインでよい評判を保つことが重要なのはどのような状況でしょうか。[学校や大学に志願している、求人に応募している、新しい友達を作る場合などが考えられます]

# 他者から見た自分の評価を調べる

## パート1

### クラスインタラクション

参加者が身近に感じるような著名人(音楽・映画・テレビ業界の人物、政治家、ビジネスリーダーなど)を一人選びます。その人の名前をオンライン検索エンジンで検索し、表示された情報の一部について参加者と一緒に調べます(検索結果をスクリーンに映してください)。著名人のソーシャルメディアアカウントをチェックします。数分間チェックした後、参加者2名に著名人とファンとの間で考えられる交流を演じてもらいます。

以下の質問を投げかけます。

\_\_\_\_\_さんは自身について多くの情報を知っている人に出会ったとき、どう感じるのでしょうか。

情報が間違っていた場合、どう感じるのでしょうか。

\_\_\_\_\_さんに関するこの情報にアクセスできる人数はどれくらいでしょうか。

\_\_\_\_\_さんがオンラインで表示可能にする自分の情報を管理するにはどうすればよいのでしょうか。

## パート2

以下の内容を伝えます。

あなたが会う人は検索エンジンを使用してあなたに関する情報を取得するでしょう。その人が見つけた情報は、良くも悪くもその人があなたについてどう思うかに影響を与えます。あなたがその人からどう思われるかをコントロールするには、その人に表示される可能性が高い情報を知っておくことが重要です。

このような人の中には将来の雇用主、学校や大学の入試関係者も含まれます。入試関係者は、受験者についてオンラインで検索したかどうか、オンラインで見つけた情報を合否の判断に使用したかどうかについて、受験者に知らせることはありません。

## パート3

### クラスインタラクション

参加者を2人ずつのペアにします。

以下の内容を伝えます。

自分の名前が他の人によって検索されたときに表示させたい内容をブレインストーミングして3つ挙げてください。実際にその内容が検索結果に表示される可能性はどれくらいだと思いますか。

パートナーと話し合ってください。

以下の質問を投げかけます。

あなたとパートナーはどのような答えを出しましたか。

自分の名前をGoogleやオンラインのその他の方法で検索したことがある人は手を上げてください。どのような情報が表示されましたか。どのような写真が出てきましたか。自分に関する情報を見つけられましたか。または同姓同名の人が見つかりましたか。

1. 参加者がよくある名前の場合は、出身地や出身校などの情報を検索に追加するよう伝えます。

インターネットに接続できるコンピューターやモバイルデバイスを利用できる場合は、このアクティビティの中で自分の名前を検索してみるよう参加者に伝えることもできます。

以下の質問を投げかけます。

自分の名前をGoogleやオンラインのその他の方法で検索したら、次の3つの質問を投げかけます。

1. 最初に表示される検索結果はどのようなものですか。
2. この情報に満足していますか。
3. 他の検索結果では、あなた個人の人物像について、どのように示されていますか。学生としてのあなたについてはどうでしょう。従業員としてのあなたについては？

あなたを知らない人がこの結果を見たらどのような印象を持つでしょうか。その人が、最初に表示されるいくつかの検索結果に含まれている情報をクリックして読んだ場合、どのような印象を持つでしょうか。

# 複合情報への対応

## パート1

### クラスインタラクション

参加者向け配布資料「どう対応すればよいでしょうか」を配ります。参加者を2人ずつのペアにします。ワークシートのシナリオについて話し合っ、各シナリオについて戦略や解決策を2つ挙げてもらいます。アクションから導かれる結果についても検討します。このアクティビティの時間を15分取ります。

以下の質問を投げかけます。

他の人によって投稿された自分に関するコンテンツを不快だと感じたり、内容が不適切だと感じたりする場合、どうすればよいでしょうか。

他の人に関するコンテンツを投稿する前に何を考えたらよいでしょうか。

# 否定的な情報への対応

## パート1

以下の質問を投げかけます。

自分の名前をインターネット(検索エンジンやソーシャルメディアなど)で検索しているときに自分に関する否定的な情報を見つけた場合、それに対して何らかの対応を取ることができますか。

他の人に見られたくないコンテンツの例にはどのようなものがありますか。

## パート2

以下の内容を伝えます。

自分に関する不快なオンラインコンテンツを見つけた場合、その文脈や情報のタイプ、その他の要素に応じてさまざまな対処法があります。

1つ目の方法は「反論」です。自分について好意的に表現するコンテンツを作り出して管理することで、自分に関する良いエピソードに注意をひき、アピールします。例えば、状況に応じてソーシャルメディアでの存在感を高めたり、ブログを始めたり、自分の名前にちなんだウェブサイトを登録するなどの方法で、自分に関するネガティブな情報に対抗することができます。

2つ目の方法には否定的なコンテンツを削除するさまざまな措置が含まれます。次のような例があります。

1. 自分の写真など、自分が不快だと思うコンテンツを見た場合、そのコンテンツを投稿した人に直接連絡して(特にソーシャルメディアやメッセージアプリで)、コンテンツの削除を要請できます。
2. 多くのプラットフォームには、あなたが不快または面白くないと感じた情報や、あなたにとって不都合なコンテンツ(写真、動画、テキストベースの投稿など)、プラットフォームに掲載すべきでないコンテンツ(不快、暴力的、禁止されているコンテンツなど)、詐欺の可能性があるコンテンツを報告できるインターフェイスがあります。そのようなプラットフォームでは利用規約やコミュニティの規範と照らして情報がチェックされます。
3. 法的救済措置を取ることができる場合もあります。例えば、プライバシーの侵害や評判を損なうような虚偽の記載について、準拠法と管轄に応じて、裁判所に訴訟を起こすことができます。
4. 特定のタイプの違法コンテンツについて報告を受けた場合に、該当コンテンツの削除をプラットフォームに義務付ける法律がある国もあります[ドイツのネットワーク執行法(「NetzDG」)など]。



5. なお、コンテンツを表示させないようにしたり、削除または修正しようとしたりとすると、かえって注目度を高めてしまう場合もあるので注意が必要です。

## パート3

以下の内容を伝えます。

欧州連合(EU)圏内にお住まいの人には「消去権」があります。この権利は一般に「忘れられる権利」として知られています。なお、この権利はEU圏内居住者がEU圏外に旅行または居住する場合にも適用されます。一般データ保護規則(「GDPR」)におけるこの権利のもと、EU圏内の利用者は「データ管理事業者」に対して、自身に関する特定のタイプの情報削除を要請できます。「データ管理事業者」とは、利用者に関する情報を処理する方法について決定する法人、個人、政府機関などです。

EU圏内の利用者が自身に関する情報の削除を要請できる理由は6つあります。それぞれの理由に、さまざまな状況が対象として想定されています。例えば、データ削除要請を行うことができる理由の1つとして、この情報共有のリスクが大きいことに後から気付く「子供」に関する情報があります。このような理由は非常に一般的なものです。16歳のときにシェアした情報を25歳になって削除したいと思う理由は数えきれないほどあるでしょう。

消去権には重要な制限もあります。削除要請が却下される理由は5つあります。削除要請の理由と同様に、却下される理由も幅広く、さまざまなタイプの状況が対象となります。削除要請が却下される理由のうち重要なものは、「言論の自由の権利を守る」ことです。後ほど詳しくお話ししましょう。

GDPRは2018年5月25日に施行されました。GDPRが施行されてから時間が経つにつれ、EU圏内の人々が消去権をどのように利用しているか、企業や政府機関などがどのように対応しているかについてより多く学べるでしょう。

# 課題

## パート1

### 課題

オプション1、13～15歳の参加者の場合:

以下の内容を伝えます。

ここまで、オンラインで公開された情報が、他の人について評価するうえでどのように影響するかについてお話ししてきました。次は今学んだことを活用してみましよう。

この後30分間で、各自で次のアクティビティを行います。

1. 著名人(音楽・映画・テレビ業界の人物、政治家、ビジネスリーダーなど)を一人選びます。
2. その人に関する公開情報をオンラインで検索し、その人についての自分の意見を形作るうえでこれらの情報がどのように影響したかの説明を短い文章で書き出します。
3. オンラインでの自己表現を改善し、他者が受ける印象を向上させるため、この人に対してあなたから4つアドバイスするとしたら、どのようにアドバイスしますか? その人に関するコンテンツの公開方法の変更(例: プライバシー設定の変更、共有範囲の変更、コンテンツの内容変更)や公開の停止(例: 削除、非公開にする)などについて考えてみましょう。

オプション2、16～18歳の参加者の場合:

皆さんが忘れられる権利のない国に住んでいるとしましょう。国によるこの権利の採択を支援する意見を2つ、3つ挙げてみましょう。あなたの意見に対して考えられる最も強力な反論も2つ、3つ挙げてください。

注: 国によっては言論の自由の権利や、政府による検閲または報復措置の脅威にさらされることなく自分の考えを伝える権利が認められています。言論の自由の権利が認められている国で、「消去権」や「忘れられる権利」は機能すると思いますか。EU圏内の一般データ保護規則には、市民の「表現および情報の自由の権利の行使」を妨げる情報の削除については「消去権」が適用されないことが記載されています。ある人が個人情報の削除を希望する一方で、別の人はその情報を削除することは自分の言論の自由の権利を侵害すると主張するような状況を思いつきますか(例えば、教師に関する好ましくない情報を含むブログ投稿が、ある生徒によって書かれたとします。その教師がその生徒の担任でなくなった後、その情報に関連性がなくなったとして投稿の削除を希望する一方で、その生徒は過去の教育体験に関する発言

の公開について言論の自由の権利を主張する場合)。

この課題を完成させる時間を30分取ります。